



JASDAQ

平成 27 年 11 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社タカショー
代表者名 代表取締役社長 高岡 伸夫
(JASDAQ・コード7590)
問合せ先 執行役員
経営管理本部副本部長 井上 淳
(電話：073-482-4128)

平成 28 年 1 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 3 月 5 日に公表した平成 28 年 1 月期(平成 27 年 1 月 21 日～平成 28 年 1 月 20 日)の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 1 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 1 月 21 日～平成 28 年 1 月 20 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	19,404	1,176	1,129	624	50.82
今回修正予想(B)	17,700	730	710	390	31.76
増減額(B-A)	△1,704	△446	△419	△234	—
増減率(%)	△8.8	△37.9	△37.1	△37.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 1 月期)	18,484	603	679	323	26.31

2. 修正の理由

当連結会計年度における売上高について、当社プロユース部門の売上高は、平成26年度の新設住宅着工戸数減少の影響を受けエクステリア市場が低迷する中、前連結会計年度より増加する見込みであるものの計画に対しては下回る見込みとなっております。また、当社ホームユース部門の売上高は、ホームセンター市場全体の売上高が伸び悩む中、第2四半期において日除け商品が天候不順の影響により大きく減少し、さらに市場全体の低迷において商品導入のリピート率の低下等もあり前連結会計年度ならびに計画を下回る見込みとなっております。

連結営業利益においては、ホームユース部門における値上げ効果等により売上総利益率が改善されたことや、販売管理費においても費用を抑えられた結果、前連結会計年度より増加する見込みであるものの計画を下回る見込みとなっております。さらに為替変動の影響により連結経常利益および連結当期純利益につきましても、前回予想値よりも減少する見込みであります。

当社グループは、来期に向けエクステリア市場向け新商品投入およびショールーム整備等、販売活動の強化ならびに新工場建設等、製造設備の投資により、さらなる売上拡大、利益向上に向け邁進して参ります。

なお、期末の配当予想につきましては、前回発表予想から変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は当社を取り巻く様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上